ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

令和２（2020）年
８月２２日発行
第１号
文責（校長）片山　隆

夢のふくらむ学校

２期（８月２２日～１１月２８日）の オンライン授業もよろしくお願いいたします。

早いもので、令和２年度も２期の授業日を迎えることとなりました。振り返ってみますと、３月の新型コロナウイルスの感染拡大により、社会全体が未曾有の試練に立ち向かう中、ニューヨーク補習授業校においては、４月４日の開校をオンラインで迎え、以来１５回の授業を行ってまいりました。当初は、ハード面でのトラブルが多発し、皆様にはご迷惑をおかけいたしました。そのため、オンライン授業への評価は非常に厳しいものがありました。

しかしながら、授業の回数を重ねる内にトラブルも落ち着き、授業に集中して取り組むお子さんの姿が見られるようになってきました。補習校の教師陣も、Zoom や Google　Classroom 等の研修を重ね、オンライン授業のよさを最大限に生かしながら授業を行ってきたところです。ここに至るまで、保護者の皆様のご理解とご支援、教師陣の踏ん張り、そしてお子さん達の頑張りに、心からの感謝と敬意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

現在においても、まだまだ感染力の強さを見せつける新型コロナウイルスです。残念ながら、２期の対面授業を見送らざるを得なくなりました。７月１１日付の保護者アンケートでは、７０％の保護者の皆さんは対面授業に参加させたいというお気持ちでした。しかしながら、先にお知らせしたように(８月１１日付文書)、開校後の感染リスクの完全排除がきわめて難しいことから、当面はオンライン授業を継続することとなりました。

オンライン授業の継続により、在籍数にも大きな変化が見られました。４月当初７３７名の在籍が、７月１８日で６８９名となりました。(休学者５５名を含みます。）現在、更に２期の退学や休学の申し出も届いていますが、逆に復学の希望も届いています。補習校としましても、本来の特徴である、日本の学校文化や伝統行事などの体験の場を、何とか提供したいと考えているところですが、授業時数も確保しなければならず、難しいところです。

そんな中、**W 校では、幼児部の授業で作成した季節の飾りを、自宅の窓に飾って楽しんでいるという写真をいただきました。**その他にも、Zoom の画面の中で、今まで作った作品を部屋の壁に飾っている様子を見ると、嬉しくなります。

また、**ＬＩ校中高等部では、生徒会がＳＮＳを活用して情報発信や情報の共有を図っていこうとする試み**も見られるようになりました。

さらに、日本の国立天文台から中学生向けプログラムとして『天文情報センター「ふれあい天文学」』の案内が届き、現在申請中です。



窓辺にお花畑が

このように、与えられた環境の中で、知恵を出し合いながら、週１回の日本語の学習を継続してまいります。保護者の皆様におかれましては、今後とも補習校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

～～～～～学校納付金（入学金・授業料・教材費）について～～～～～

４月２８日付及び５月２日付文書で予告していた「２期の授業料への（教材費等）の充当」につきましては、８月１１日付「２学期の授業と学校納付金について　３（３）備考」でもお知らせしておりますように、下記の事由により財政的に厳しい状況にあるため、できないことになりました。

①教科書、副教材等の郵送費、人件費
②オンライン授業にかかる経費（環境整備・充実のための初期投資費用等）
③開校に向けての安全確保資材の購入費（開校時に備えるためのもの）

一層の経営努力をしてまいる所存ですので、保護者の皆様には、ご理解のほどお願い申し上げます。